



本館

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3-6-40

- 医学学部**
- 理学療法学科
 - 作業療法学科
 - 言語聴覚学科
 - 視能訓練学科

地下鉄でお越しの場合

○地下鉄空港線「藤崎」駅から西鉄バスで約4分、「ももち浜クリニックゾーン前」下車、徒歩約2分(徒歩の場合、「藤崎」駅から約15分)

西鉄電車でお越しの場合

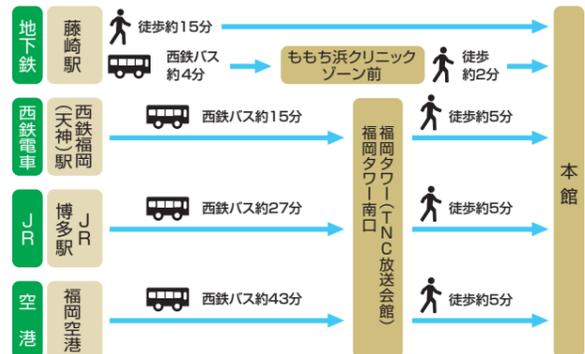
○西鉄天神大牟田線「西鉄福岡(天神)」駅から西鉄バスで約15分、「福岡タワー(TNC放送会館)」バス停、「福岡タワー南口」バス停下車、徒歩約5分

JRでお越しの場合

○JR鹿児島本線「博多」駅から西鉄バスで約27分、「福岡タワー(TNC放送会館)」バス停、「福岡タワー南口」バス停下車、徒歩約5分

空港からお越しの場合

○福岡空港から西鉄バスで約43分、「福岡タワー(TNC放送会館)」バス停、「福岡タワー南口」バス停下車、徒歩約5分



1号館・2号館・Mタワー

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜1-7-4 (1号館)
 〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-4-16(2号館)
 〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜1-7-5 (Mタワー 8F-11F)

- 看護学部**
- 看護学科
 - 診療放射線学科

地下鉄でお越しの場合

○地下鉄空港線「西新」駅から西鉄バスで約11分、「医師会館・ソフトリサーチパーク前」バス停下車、徒歩約3分(徒歩の場合、「西新」駅から約15分)

西鉄電車でお越しの場合

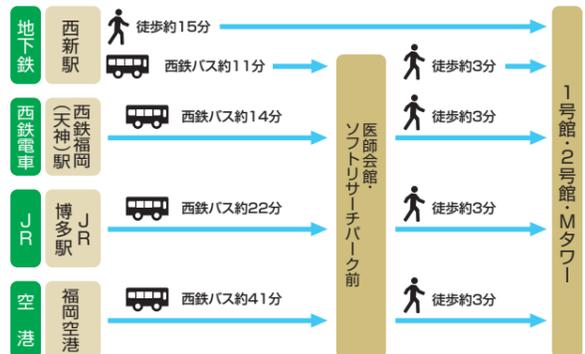
○西鉄天神大牟田線「西鉄福岡(天神)」駅から西鉄バスで約14分、「医師会館・ソフトリサーチパーク前」バス停下車、徒歩約3分

JRでお越しの場合

○JR鹿児島本線「博多」駅から西鉄バスで約22分、「医師会館・ソフトリサーチパーク前」バス停下車、徒歩約3分

空港からお越しの場合

○福岡空港から西鉄バスで約41分、「医師会館・ソフトリサーチパーク前」バス停下車、徒歩約3分



問い合わせ先

0120-05-5931
(月~土 / 9:00~17:00)

TEL 092-832-1200 E-mail nyushi@takagigakuen.ac.jp
 FAX 092-832-1167 WEBサイト https://fuihw.takagigakuen.ac.jp/



福岡国際医療福祉大学

医療学部

診療放射線学科

**2024年4月
開設**

2024 Fukuoka International University
of Health and Welfare



2024年4月、福岡国際医療福祉大学に 診療放射線学科が誕生します。

国際的な視野を持った次世代のリーダーとなり得る医療専門職を養成する福岡国際医療福祉大学医療学部に、2024年4月、新たに診療放射線学科が開設されます。姉妹校・国際医療福祉大学がこれまでに培ってきた医療・福祉の技術力、教育ノウハウ、そして整った学修環境(学内設備、グループ関連医療福祉施設との連携など)を継承し、幅広く活躍できる診療放射線技師を養成します。

建学の精神・基本理念 「いのち生命の尊厳、いのち生命の平等」

病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現をめざす。

教育目標

- ① 「チーム医療・チームケア」に貢献できる専門性の高い人材を養成する
- ② 保健・医療・福祉分野の高度化・専門化に対応できるとともに、それぞれの分野で指導者となり得る人材を養成する
- ③ 国内はもとより国際社会でも活躍できる、総合的な臨床能力を持った人材を養成する
- ④ 知識や技術に偏向しない、バランスのとれた豊かな人間性とコミュニケーション能力を持った人材を養成する
- ⑤ 時代のニーズに適合し、地域医療にも貢献できる、実践力のある人材を養成する

ごあいさつ

国際的な視野を持ち、 次世代のリーダーとなり得る 医療専門職を養成します



理事長
高木 邦格

現在、超高齢社会を迎えて医療需要の増大や地域包括ケアシステムの構築といった、リハビリテーション医療を取り巻く環境は大きく変化しており、それらを担う高度な知識を持った医療専門職がますます必要とされています。

アジアの玄関口である福岡市では、グローバルな視点をもった保健・医療サービスの提供や政策の立案に携わる医療従事者の養成が求められており、今後は隣接するアジア諸国においてもリハビリテーション専門職の需要が高まると見込まれています。こうした状況下、政令指定都市である福岡市およびその近郊にはこれまでリハビリテーション専門職を養成する4年制大学がなかったことから、より実践的で高度な知識を持った医療専門職の人材を養成するため、2019年4月、福岡市で初めてとなるリハビリテーション専門職養成の4年制大学を新設いたしました。

また、2021年4月には、グループの学校法人国際医療福祉大学から福岡看護学部を移管し、「看護学部看護学科」を開設。2023年4月には「医療学部言語聴覚学科」を新たに開設しました。これらの学部・学科が一体となることによって、「チーム医療・チームケア」の学びをさらに深めることができると期待しています。

本学のキャンパスは美しい景観と都市機能を併せ持った「ももち浜地区」にあり、「教育・医療・福祉」が一体となった教育環境に立地しています。この恵まれた環境のなか、経験豊かな教授陣のもと、日本の医療福祉分野の教育をリードしてきた国際医療福祉大学と密接に連携を図りながら、きめ細かく質の高い教育と研究の実践をめざしてまいります。

さらに、これまでグループが培ってきた、医療専門職養成の実績や教育方針を発展させ、より高度な知識と応用能力を修得した人材を養成するべく、豊かな人間性を育むリベラルアーツに重きを置いたカリキュラムを編成し、コミュニケーション能力や問題解決能力、各分野に関する科学的・創造的思考やリスクマネジメント能力の向上をめざした教育に力を入れております。

今後とも、西日本地区の医療を支えながら、「チーム医療・チームケア」に貢献できるメディカルスタッフの養成をめざし、教職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

西日本屈指の 医療系総合大学で学ぶ 「チーム医療・チームケア」



学長
原 英夫

2019年4月、シーサイドももちに新しく福岡市初のリハビリテーション系の大学が誕生しました。大学の基本理念は、建学の精神である「『生命の尊厳、生命の平等』を理解し、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる『共に生きる社会』の実現をめざす」ことであり、高度に専門・分化した医療に対応できるのみでなく、豊かな教養を備えたリーダーの育成とグローバルに活躍できる人材の育成を目的として設立されました。2021年度には看護学部が、2023年度には言語聴覚学科が開設され、西日本屈指の医療系総合大学へと成長を遂げています。

本学の教育目標の一つに、「チーム医療・チームケア」に貢献できる専門性の高い人材の養成を掲げています。学科の垣根を越えて共に問題解決に取り組む「関連職種連携教育」では、保健・医療・福祉に携わる職種の専門性と関連性、「チーム医療・チームケア」の理念と技能をより実践的に学ぶことができます。国家資格等の取得にあたっては、姉妹校の国際医療福祉大学と連携し、1年次から国家試験直前まで徹底したきめ細かな指導とサポートで、100%合格をめざします。

国際的な高齢化社会の到来、そして新型コロナウイルス感染症拡大により、医療のニーズはますます高まっています。本学で学び、直面する困難を乗り越え、患者さんやご家族、上司や同僚・後輩たちから真に信頼される医療人になってほしいと願っております。みなさんの輝かしい未来の実現に向けて、教職員一同取り組んでまいります。

PROFILE

1983年九州大学医学部卒業、1990年九州大学博士課程医学系研究科修了。九州大学医学部附属病院、国立精神・神経センター神経研究所室長、国立長寿医療センター研究所室長、2011年佐賀大学医学部内科学講座教授、2015年佐賀大学医学部長に就任、2022年福岡国際医療福祉大学学長に就任、佐賀大学名誉教授。2005年「2005 Alzheimer Award」、2006年「日本神経免疫学会賞」を受賞。

医療学部 診療放射線学科

定員 **60**名

取得可能な資格

診療放射線技師
国家試験受験資格



アドミッションポリシー

- ① 医療や放射線科学に興味を持ち社会に貢献したいという目的意識が明確であり、何事にも主体的に取り組む意欲をもって学修する意志のある者
- ② 基本的倫理観を持つ者
- ③ 各専門知識を学び応用するために必要な基礎学力を有している者
- ④ 海外の保健・医療・福祉、特に診療放射線分野に興味を持つ者

診療放射線学科では基礎から高度な専門技術まで、時代が求める質の高い医療の実現のためのハイレベルな専門知識と最先端技術を修得し、臨床現場における対応力を培い、社会に貢献する診療放射線技師を育成します。



診療放射線技師とは

放射線を用いたX線装置・CT装置、磁気を用いたMRI装置、PET-CT装置、超音波を用いた超音波診断装置などを扱って、医師が病気を診断するための最適な画像を撮影するのが診療放射線技師です。病気の早期発見・精密診断にとどまらず、がん治療のひとつである放射線治療では、最先端技術を駆使した放射線治療装置を扱って、治療に貢献する役割も担います。



診療放射線技師が注目されている理由

高齢化の進展や社会環境の変化、医療機器の高度化により、診療放射線技師の専門性がますます高くなっています。特にがん治療の分野では比較的体への負担が少ない(低侵襲・低負担)放射線治療の重要性と需要が増加しています。また近年の画像診断装置や放射線治療装置の技術進歩はめざましく、現代の医療において放射線機器を使用した検査・診断・治療は必要不可欠です。これらを扱う診療放射線技師には高度な専門知識と技術はもちろんのこと、チーム医療・チームケアの考えのもと他職種との連携強化が求められています。

診療放射線技師が取り扱う主な装置

検査のための装置



CT装置

360度の方向からX線を照射し、身体の内部を輪切りの断面像として画像化します。得られた画像から全身のあらゆる箇所(骨・血管・臓器)の3D画像を作成することもできます。



MRI装置

放射線を使用せず、強い磁石と電磁波によって身体の断面図を撮像します。脳や脊髄、関節を中心にあらゆる部位の病気を診断することが可能です。



PET-CT装置

PET・CT装置は、1台で「PET」と「CT」両方の機能を併せ持つ装置です。がんの検出に威力を発揮するほか、虚血性心疾患の心筋機能評価やてんかんの術前診断にも有用です。

治療のための装置



リニアック

X線や電子線などの放射線を当ててがん治療を行う装置です。身体に傷をつけずにがん治療を行うことができ、痛みなどありません。



トモセラピー

X線が身体の周りを高速で回転しながら病巣の形、照射部位を把握し正確に集中照射を行い正常組織への線量をできる限り低減できる放射線治療装置です。

活躍のフィールド

病院

画像検査センター

医療行政機関

研究機関

大学・専門学校などの教育機関

放射線機器メーカー

など

本学診療放射線学科は、専門性、総合性、柔軟性、社会性、国際性を備え、対象者に寄り添う心を持ち、対象者および関連職種と十分なコミュニケーションがとれる診療放射線技師を養成することを目的とします。

6つの教育特色

POINT 1 1年次より段階的に、豊かなコミュニケーションが実践できる能力の修得

POINT 2 海外研修や語学教育を通じて、医療のグローバル化に対応可能な国際的なコミュニケーション能力や問題解決能力を身につける機会の充実

POINT 3 関連職種連携教育を実施し、段階的にチーム医療・チームケアの重要性を学び、他職種と協働できる能力の修得

POINT 4 高度な知識の獲得をめざしてICT*の活用や図書館の有効利用の推進、さらに問題解決能力を育てるためのアクティブラーニングの実践

POINT 5 きめ細かな指導を徹底するために、担任制やアドバイザー制、少人数での学内実習の実践といった学修環境の整備

POINT 6 進歩し続ける診療放射線分野および近接分野の最先端の知識・技術を身につけ、最善の放射線技術を提供できるような系統的かつ段階的な講義・演習・臨地実習の展開

*Information and Communication Technology



INTERVIEW

診療放射線技師として活躍中!

いかに患者様の負担にならないように
目的部位を撮影するか、思考錯誤する日々

私は入職2年目の診療放射線技師として、X線一般撮影、オペ室でのイメージ操作などのレントゲン撮影を担当しています。勤務先の福岡山王病院は総合病院であるため、患者様の疾患もさまざま。装置の使い方や撮影時の工夫など、毎日新しい学びがあります。しかし、大学で身につけた解剖学や生理学などの基礎的な医療知識や、必要不可欠な各モダリティ(装置)の特徴や原理などの基礎知識は役に立っています。それらの理解があることでより質の高い画像を医師に提供でき、より良い患者様への対応が可能になると感じています。

今後の目標は、当直ができるようになることです。X線一般撮影、CT、MRIなど、ひと通りの撮影が行えるようにならないと、当直業務を担当することができません。今はとにかく仕事を覚えるため、経験豊富な先輩からアドバイスをもらいながら勉強の毎日を送っています。そして、夜間救急の患者様にも冷静に対応できる知識と技術を身につけていきたいと思っています。

PROFILE

2022年、福岡山王病院に入職。できることも徐々に増えていき、現在はCT、MRI、心臓カテーテル検査など幅広い業務に携わっている。新たな資格取得も視野に入れ日々勉強にも取り組んでいる。



佐藤 元哉さん
福岡山王病院 診療放射線技師

本学の姉妹校である国際医療福祉大学は、大田原キャンパス・成田キャンパスに診療放射線技師の養成学科を設置しています。特に大田原キャンパスでは1995年の開学以来、約2,500人の診療放射線技師を全国各地に輩出。毎年、全国トップレベルの国家試験合格者を達成するなど確かな実績があります。2024年4月に開設される福岡国際医療福祉大学診療放射線学科では、これらのノウハウを踏襲し入学後の学修、学生生活の支援、相談体制の充実、さらには国家試験対策、就職支援まで手厚いサポート体制を構築していきます。



福岡山王病院をはじめ
約60のグループ関連医療福祉施設がバックアップ

本学は、教育・医療・福祉の総合グループ「国際医療福祉大学・高邦会グループ」の一員です。福岡・東京・栃木・神奈川・静岡・千葉に広がる約60の関連医療福祉施設が、本学での教育・実習・研究をバックアップしています。特に、本学に隣接する福岡山王病院は最先端の放射線機器を数多く取り揃えた県内屈指の総合病院です。診療放射線学科ではこの福岡山王病院の設備も活用し、最先端の授業を展開していきます。

姉妹校
の実績

国家試験合格率

100%

※国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科
(大田原キャンパス)の令和5年2月実施
診療放射線技師国家試験合格率(新卒者の合格率)
※全国合格率87.0%(全受験者の合格率)

就職率

100%

※国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科
(大田原キャンパス)の2022年度卒業生実績
※就職者数95人、就職希望者数95人、
2023年5月1日時点



大学に隣接する福岡山王病院(福岡市)



高木病院(福岡県大川市)



国際医療福祉大学成田病院(千葉県成田市)

学生納付金

医療学部(理学療法学科/作業療法学科/言語聴覚学科/視能訓練学科/診療放射線学科)

納付時期	入学金	授業料	実験実習費	施設設備費	合計	4年間合計
初年度	300,000円	900,000円	50,000円	300,000円	1,550,000円	5,900,000円
2~4年次	—	900,000円	250,000円	300,000円	1,450,000円	

*学生納付金等の詳細は、「福岡国際医療福祉大学診療放射線学科2024学生募集要項(追補版)」で確認してください。

学費サポート

特待奨学生制度

本学では、医療福祉の専門職をめざす皆さんの進学を経済的に支援することを目的として、特待奨学生制度を導入しています。「一般選抜前期」、「大学入学共通テスト利用選抜」において、科目試験の結果および出願書類を総合的に判断し、特に成績優秀であり、本学の特待奨学生としてふさわしいと認められる人物を選抜します。特待奨学生にはS・Aの2種類があり、4年間の授業料に対して特待奨学生Sは100%相当額、特待奨学生Aは50%相当額を給付します(ただし奨学金は各年度の授業料に振り替えます)。

入試方式	特待奨学生区分 奨学金給付額	対象学科・人数	奨学金給付額 (4年間合計)	奨学金給付前の 学生納付金 → 奨学金給付後の 学生納付金
一般選抜前期	特待奨学生S 授業料 100%相当額	看護学科2名	360万円	614万円 → 254万円
		理学療法学科1名 作業療法学科1名 言語聴覚学科1名 視能訓練学科1名 診療放射線学科1名		590万円 → 230万円
大学入学 共通テスト 利用選抜	特待奨学生A 授業料 50%相当額	看護学科6名	180万円	614万円 → 434万円
		理学療法学科3名 作業療法学科3名 言語聴覚学科3名 視能訓練学科3名 診療放射線学科4名		590万円 → 410万円

*上記学生納付金は4年間の総額です。なお、学生納付金には、授業料以外に入学金(初年度のみ)、実験実習費、施設設備費が含まれます。

年間成績優秀賞

前年度の成績優秀者から選考し、2年次以降各学科・各学年1名に給付され、当該年度の授業料に振り替えます。給付金額は、看護学部が45万円、医療学部が30万円です(特待奨学生S・Aは表彰のみ)。

学生修学支援事業

学生納付金負担者の不慮の事故等に伴う家計急変者を対象とした制度です。

その他の奨学金制度・学資ローン

日本学生支援機構奨学金

法律に基づく、広く一般的な修学困難者が対象の制度。学力・家計の基準があります。

金額	給付
<ul style="list-style-type: none"> ■ 第一種(無利子) 自宅通学:月額2万、3万、4万、5.4万円から選択 自宅外通学:月額2万、3万、4万、5万、6.4万円から選択 ■ 第二種(有利子) 月額2万~12万円の間から1万円単位で選択 ■ 給付 自宅通学:月額3.83万円、2.56万円、1.28万円 自宅外通学:月額7.58万円、5.06万円、2.53万円 *金額は家計基準により決定します。 *2024年度より「給付」に上記以外の新たな区分が設置される予定です。 	
採用年次	入学後または高校3年次の予約採用

*給付に関して留学生は対象外となります。*本学は「高等教育の修学支援新制度」の対象校です。

自治体主催奨学金

地方自治体独自の奨学金制度です。都道府県・市区町村によって制度の有無・内容が異なるため、詳細はお住まいの自治体に確認してください。

民間育英財団奨学金

民間の財団が社会奉仕の一環で行う制度です。

学外教育ローン

国や民間の金融機関で取り扱う教育ローンです。

大学提携教育ローン

本学では、入学手続時や授業料の支払い時に、株式会社オリエントコーポレーションと提携した教育ローンをご案内しています。本学を受験する前に事前審査が可能です。